

明るく元気の出る町

平成7年1月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

 東由利町

1995

1

NO.478

迎春

1995 元旦



町イメージキャラクター
「モウ太くん」

Europe Report

欧州の文化や歴史にふれる

スイスの観光開発

ブレーメンの町づくり

発見の旅

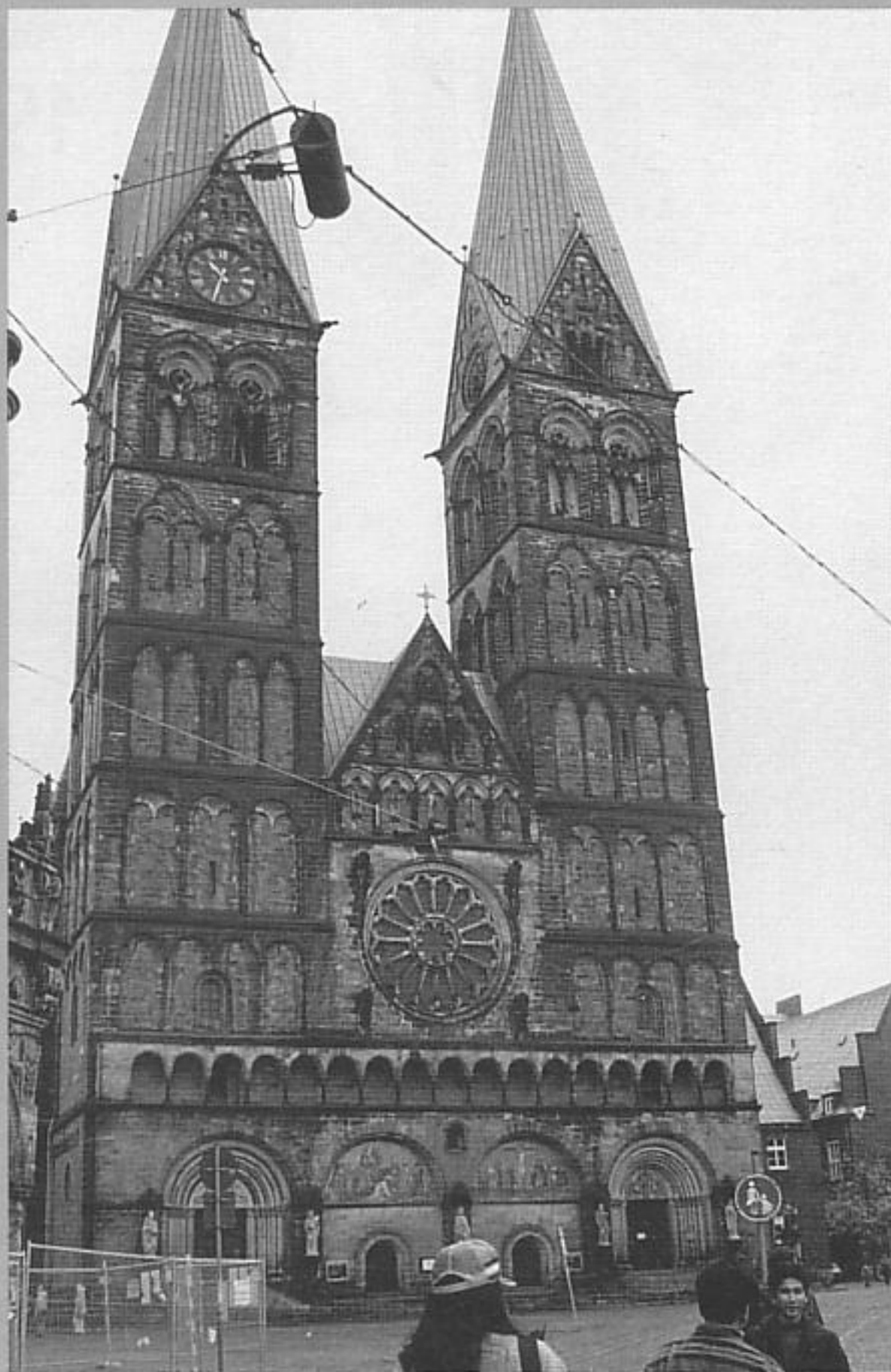
感動と興奮の連続

商業事情、観光の質を学ぶ

東由利町・大内町合同海外研修が十月二十一日から三十一日までの十一日間にわたって行われ、ドイツ、スイス、フランスの三か国を訪問、大内町から六人、本町から十人が参加しました。

今年のテーマは「商業振興」。古い住宅地を再開発して个性的な商店街として生まれ変わったドイツのシュノーール地区のカッセルにあるメルヘン街道事業本部、高速道路に隣接しているスイスのジャバンヌ・ドウ・ボジ地区のショッピングセンター、登山の基地や国際的リゾート地として有名なスイスのインターラーケンの商店組合などを訪問し、ヨーロッパの商業事情、観光開発の現状を学びました。

見るものすべてに感動したという、新たな発見の旅を団員のレポートで紹介します。



▲ドイツ、ブレーメンの市庁舎のとなりの建物。
築後数百年前とか



▲スイスの街なみ。まるで絵葉書のように



▲ショッピングセンター前で、ハイパチリ

個性的な建物 きれいな街區が印象的

副団長・石綿喜代隆(大琴)

今回の研修目的は、各国の商業振興を見て、感じて、触れてみることに。メルヘン街道を軸にまちおこしを進めている商工観光の担当職員、ショッピングセンターの支配人、インターラーケンの市長、市議会議員、多くの地元の人達と話を交わせたことを今、日本に帰ってから勉強になったと思う。

インターラーケン市は、人口五千人ほどで、湖と緑と巨大な山が観光の売り物。観光シーズンになると人口が二、三倍になり、入り込み客数ではスイスで三番目という観光地である。市長に「三番目から二番目、そして一番目の観光地にしようという考えはないのか」と尋ねると「二、三番目という数字には関心がない。肝心なことは観光客がどれだけリラックスできるかである。

カレンダーのような風景 徹底した観光開発に感銘

それを心掛け、実行している。この地に再三足を運んでくれることを望んでいる」とのこと。この言葉は、結果を目標して頑張っている我々日本人とは違う一面ではないかと思う。また、某氏が「外国人が出入りして環境が悪くなることはないか」と問うと、「外国人の出入りは何も問題ない」との答え。外国人に対して弱い日本人を象徴した会話ではないかと感じた。これらの課題として、よく聞く国際人日本を早く確立しなければならぬだろう。この点に気がついただけでも一歩踏み出したことになる。



▲ショッピングセンターの店頭には焼きたてのパン

小松 亮介(上通)

スイスのシャバンヌ・ドウ・ボジ地区は、ジュネーブから車で三十分程度の距離にある人口約千人の地区。町の核となるショッピングセンターでは、地元の新鮮な野菜、乳製品などが販売されているのが目につきました。アウトバーンに近く、このセンターの建設により客層に大きな変化が生まれはじめ、遠くからの買い物客も増えていると説明がありました。

「ショッピングセンターは、元は倉庫で、はじめは運送しか行っていなかったのが、お客さんの要望により少しずつ食品を置くようになった。その結果、ショッピングセンターになってしまった」と経営者の人は話していました。今では、食品はもちろん、洋服、電気製品、家具、おもちゃまで売られています。ここでの視察は、人口の規模から言っても東田利でも参考になるのではないかと感じました。

阿部 伸 喜(十二ノ前)

スイスのインターラーケン市は、人口約五千人で、市の年間総予算額が六千万フラン(約四十八億円)、アルプス(ユングフラウ山、三、四五四メートル)への登山電車を観光のメーンとしている。トゥーン湖とブリエンツ湖の間に位置し、山と湖を有効に利用した観光開発が行われ、年間延べ六十万人(内日本人が九万七千人)の宿泊客があり、町の産業の九〇パーセントが観光業ということである。

インターラーケンの行政上の課題として①いかに観光の質を上げるか②交通、車、騒音、駐車場、空気汚染それぞれへの対策③借金が多いことがあげられ、特に力を入れていることは冬場の観光客の確保であった。町そのものが赤字財政であるにもかかわらず、観光業としての質を第一に考えており、ユングフラウ山の見えるところには建物を建てない徹底ぶり。どこの国のどのような人が何を求めて観光にくるのか、十人以上先を見据えての観光開発に感心させられた。

佐藤 直弘（横渡）

スイスのジャバンヌ・ドウ・ボジ地区のスーパーマーケット「プレセット」を視察。九二年にオープンした新しい店でした。日本のスーパーとの相違点は、まず地元産の新鮮な野菜、食品、乳製品をあえて多く扱っているということでした。共存共栄なのでしょう。そして、それらがラッピングされておらず、スーパーでありながら八百屋さんの販売方法でした。ただ感じたことは、日本ほど価格競争がないような意外とゆったりとした感じでした。お客様が、価格だけでなく安全でおいしい物を求めているからなのでしょう。現地案内人（日本人女性）が、ガット・ウルグアイ・ラウンド交渉時に、全国



▲ブレーメンのシュノール地区、石畳が足の裏を刺激してくれる

ブレーメンの音楽隊で有名なブレーメン市。ここがヨーロッパに到着し、最初の朝を迎えた地である。日本の風景と異なり、特に古い民家などは、石とレンガだけで造ってあった。ドアの枠などもゆがんだり、曲がったりしており、その形にあわせてドアを作っている。いかにも「個性的な家」という感じを受けた。また、市内には公園が多く、木が多いのが印象的であった。バスでアウトバーンを南下した。山が少なく、平野が多く、道路も真っすぐだった。メルヘン街道を走っているとハーメルン市内で雨が降る。こちら

佐藤 正博（律沢）

童心にかえったメルヘン街道 600年の町づくりを見る

農業協同組合連合会の佐藤秀一副会長を担当したらしく、その時の話をしながら楽しい案内でした。案内人から「ヨーロッパの農業（特にフランス農業）は危機状態にある」などと話を聞き、どこの国の農業も一筋縄ではいかないなど感じました。

スイス各地を回り、問題解決は、経済至上主義ではなく、また、場当たり的でなく、しっかりとしたコンセプトが感じられることが多く、とても勉強になりました。



▲ブレーメンの市庁舎正面広場

の雨は、一日中長く降ることはないそうだ。すぐ雨がやみ、まずは安心。

カッセル市に着き、メルヘン街道の共同事業本部を訪問した。メルヘン街道を現在のようにするためには、多くの時間がかかり、その運営を市が中心になって行っていることなどを聞いた。六百メートルにおよぶ街道は、沿線の市町村や商店街がアイディアを出し合いながら成り立っており、共同で観光PRなどを行っているという事であった。緑がいっぱいで、公園が数多くあり、グリム童話をはじめ、伝説などで知られてところが随所に目に着いた。

藤丸 和幸（田代）

ドイツは、緯度が北海道と同じ位ということで、街路樹の落葉が秋田より二週間ほど早いようです。

ブレーメン市は、人口六十万人、ハンプルグに次ぐ港があり、バルト海貿易の基地として栄えた商業都市です。マルクト広場は全て石畳で、中央に立つ中世の騎士ローラントの像は、市民の自由と市民権の象徴として一四〇四年建造の自由都市のシンボル、戦争中は市民が土嚢を積上げ守ったとされています。

メルヘン街道は、グリム童話の兄弟ゆかりの童話の地、特にブレーメンの音楽隊の像は、ロバ、イヌ、ネコ、ニワトリが重なったもので、ロバの足を踏むと幸せになると伝えられていることから、すり減った足は金色に光って

います。日本の昔話は、知恵の宝と感
じていますが、グリムの童話も人の幸
せを願う作者の深い知恵が、人々に愛
され、また、観光客の願うところも同
じように感じます。



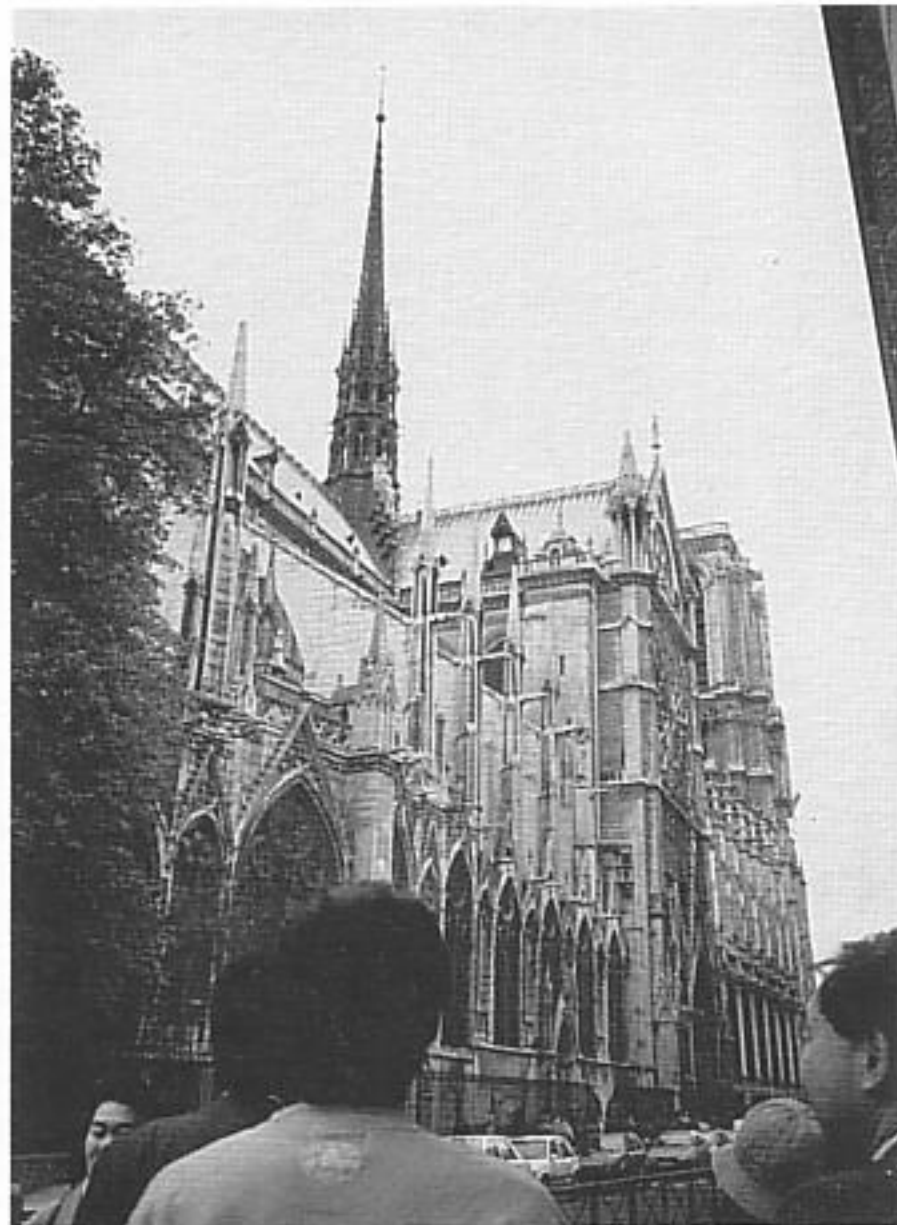
▲ブレーメンマルクト広場

また、シュノール地区は、職人が住
んでいた町で長い間さびれていました
が、職人を呼び戻し再生され、陶芸、彫
刻などの手工芸店が多く、観光と共に
発展し、きれいな街区を形成していま
した。

高沢 照久（葎沢）

▼一日目Ⅱ東由利Ⅲ成田へ。ホテルで
会食後自己紹介▼二日目Ⅱ成田空港Ⅲ
フランクフルトⅢブレーメンへ。空の
上で酒を楽しむ。▼三日目Ⅱブレーメ
ンをバスで視察、お祭り中で賑やか。
夜明けが遅い。仕事は九時Ⅲ十六時す
ぎまでとか。▼四日目ⅡブレーメンⅢ
カッセルへ。レンガ造のゴシック建築

からルネッサンスの美しいものまであ
る。買い物もでき、良かった▼五日目Ⅱ
カッセルⅢフランクフルトへ。メルヘ
ン街道事業本部訪問。ステッカーのシ
ンボルマークは、魔法使いのおばあさ
ん。Tシャツなどの製
品化にも成功している
らしい。ヨーロッパ最
大級の空港があるフラ
ンクフルトは、銀行の
多い町でも有名▼フラ
ンクフルトⅢジュネー
ーブへ。ジュネーブ市内
は、一方通行が多く、
たくさん国際機関が
目についた。シャバン



▲フランス、ノートルダム寺院

「ボツメキの泉」のように、

活力ある町に

新年明けましておめでとうございま
す。平成七年・一九九五年も皆様にとっ
てすばらしい年になりますよう心から
ご祈念申し上げます。

昨年は、「冷害は二年続くか」との
心配をしたのですが、一転して記録に
残る猛暑になりました。降雨なしの暑
さのため、大干ばつかと心配をしたの
でしたが結果的には久しぶりの豊作に
なりました。「あきたこまちと由利牛
の里」を標榜するわが町にとっていま
ず第一の慶事でありました。しかし
久しぶりの暮れの大雪にはびっくり致

しました。天もよくバランスを取って
いるものだと思ったものです。今年も
暖冬との予報でありましたから、油断
した皆さんも多かったのではないかと
心配致しました。なかなか長期予報も
難しいものようです。

東由利誕生四十年・町制施行二十周
年と節目の年でありました昨年もいろ
いろな出来事がありました。総じ
てわが町にとっては良い一年間であつ
たと思います。是非、今年も良い年に
なりますよう心から祈念し、そうなる
べく努力もして行かねばなりません。
いま価値観が混沌としている時であ
ります。新しい価値観を作り上げる陣
痛の時かもしれません。二大超国アメ
リカ・ソビエトという構図が崩れてか
ら日本を取り巻く環境が変わり、新し

い価値観を作り上げるべく苦心をして
おります。一つの価値観だけでなく、複
眼の価値観が必要とされる時代なの
も知れませんが、自民党と社会党が連立
して政権を作り上げているようにです。

小選挙区制が国会で決まり新しい枠
組みができあがりましたが、東由利町
もそれと無縁のものではありません。
私たちもそれに参加しながら良い日本
を作り上げて行かなければなりません。
そのためにも、より良い町を、地域
を自分たちの手で作り上げて行かな
ければなりません。四十年、二十周年の
重みをしっかり噛み締め、あの干ばつ
の猛暑の中でも勢いよく湧き出る「ボ
ツメキの泉」のように、尽きぬ活力を
町づくりにもと祈念しながら年頭のご
挨拶に致します。

町長 阿部 幸悦 日記

町長 阿部 幸悦

行政報告

16万8千円袋を出荷

7年ぶりの豊作

稲作



▲行政報告をする阿部町長



▲12月15日から20日まで行われた議会

イメージソング、新民謡 カセットテープで全戸配布

十二月一日現在の出稼者数は、二百四十二人（昨年比五十八人減）となっています。

防火水槽は、松沢、新町、新処に整備し、さらに大琴、西山工業団地入り口に追加発注しています。

消防団緊急伝達装置のスピーカーは、黒瀬と横渡地区に増設しました。これにより葎沢、泡ノ瀬、横渡の難聴が解消されました。

合併四十年、町制施行二十周年を記念して製作したイメージソング「きつとやさしい心になれるから」、東由利新民謡「東由利音頭」は、十一月の式典で発表し内外から多大の評価をいただきました。カセットテープにして全戸配布にする予定です。また、イメージキャラクターの愛称が「モウ太くん」に決まり、これでソフト事業は完成したことになります。

蔵バス停を起点、終点とし、八本杉、桜長根を通る東北自然歩道（新奥の細道）「古代大木と旧街道のみち」は、延長一・八キロ、案内標識等二十五基が設置され、整備が完了しました。また、「山と湖に親しむ八塩周遊のみち」には、八塩山頂にあずま屋が完成し、本町分は全線が整備されたことになります。

温泉保養センターと産地形成促進施設は、十月三日に起工式を行い、順調に工事が進められています。これと並

行して、第三セクターによる会社設立の準備や営業業務の具体像を検討しています。

干ばつの補助は27件

懸案の国道107号板戸工区は、全体整備計画二千七百メートル、二車線片歩道の全幅十三メートルで整備される旨、県から説明がありました。平成七年度からは板戸集落から久保方向に千メートルの事業化が行われる見通しです。

県内の米の作況指数は103の「やや良」、一等米比率は八九・九パーセントにあきたこまち九六・四パーセントと発表されました。本町でも倒伏や干ばつがみられたものの昭和六十二年以来の豊作が予想されます。十二月十三日現在、十六万八千六百六袋が出荷され、一等米比率は八九・二パーセント（あきたこまち九四・六パーセント、ササニシキ六七・二パーセント）となっています。

水不足により設置した干ばつ応急対策会議では、揚水機やホースなどの購入に対し、二十七件の助成を行いました。また、草地更新などへの補助は七件となっています。

造林事業は、新植八・四四畝、除伐八・三七畝、保育間伐八〇・五七畝な

ど四十四箇所、一六三・四二畝を当初の予定通り実施しました。

町単独の作業道開設事業では、十五路線、六千メートルが整備されました。昭和五十九年以降百六十八路線、九万二千五百四十八メートルが整備されたことになりました。

今年はじめて発生した松くい虫の被害本八本は、伐倒集積薬剤処理を行いました。今後も関係機関と連絡を密にしながら被害防止に取り組んでまいります。

大台地区 児童 本校へ試行通学

下水道整備事業は、町内を八処理区に分けて、農林水産省の補助事業である農業集落排水事業で整備するべく全体構想をまとめており、平成七年度の調査設計、年度内の事業説明会に向けて作業を行っています。

昨年、大台地区より「児童の通年本校通学」の陳情があり、教育委員会と地域の方々が話し合いを行った結果、本年度試行の形で本校通学を実施することにしました。その結果をふまえて支障がなければ、来年度に本校通年通学の手続きをとりたいと考えております。平成六年十一月末現在の町税収納率は、七六・六パーセント（前年比三・四パーセント増）、納税額は三億二千七十三万八千二百円となっています。

昭和六十一年度より実施している地籍調査は、今年で九年目を迎え、全体の三八・一パーセントが登記済みとなっています。

町長選出馬を表明

一般質問で阿部町長が答弁

梅津栄一議員 ①下水道整備と並行して家畜の糞尿処理対策を②任期満了を前にした町長の基本姿勢は

町長 ①過疎計画の中にも盛り込んでおり、堆肥処理ともあわせて検討したい②残された八か月を一生懸命取り組み、意欲をもって引き続き町政を担当できればと思っている

畑山清一議員 ①町道金山線、県道昇格の運動を②宿鳥台線の早期完成を③黒沢トンネルの整備拡張を④アクト線はスキー場を考慮に入れて整備を⑤土場沢の仲ノ沢林道の早期整備を⑥学校林を町管理にする考えは⑦仁助山の雪害対策に万全を

町長 ①県でも十分認識しており、今後も強く要望したい②地元の要望も強く、用地も協力的であり、努力したい③計画全体の中で強く要望している④思いは同じである。努力したい⑤検討したい⑥それぞれの地域の歴史があり、慎重に対応したい⑦手入れをしていく遠藤忠平議員 ①第三セクターによる農業生産法人設立の考えは②シルバー人材センター設置を③岩館バイパスの早期着工を

取り組みを検討したい③解決に全力を尽くす

小松久徳議員 玉米会館の拡張を

町長 今後の動向を見て対応したい

高沢忠議員 ①今後の稲作農家への支援対策は②肥育事業の見通しは③受精卵移植の積極的推進を④今後の林業振興策は⑤地籍調査は全事業完了後に課税すべき⑥地籍調査で町有地に個人が木を植栽したことが判明した場合の町の対応は

町長 ①今までの事業を整理しながら

可決された主な議案

議員、町長等の報酬を改定

町長、助役、収入役、教育長と町議会議員の報酬(月額)が改定されました。適用は十二月一日。金額は次のとおりで、(一)内は現行の額です。

町長七十七万円(七十三万円)、助役五十八万五千元(五十六万円)、収入役五十四万五千元(五十二万五千元)、教育長五十二万円(五十万円)、議長二十六万円(二十四万円)、副議長二十二万円(二十万円)、議員二十万五千元(十九万円)。

拡充して行く②地道に支えて行きたい③体制を整えて取り組んで行きたい④将来を見据えて十分協議したい⑤現況課税の原則がある⑥来年度整理したい小松梯之助議員 ①二十一世紀に向けた基本構想、実施計画の策定を②県道横手東由利線の改良見通しは③灌漑用水池、ため池の修繕等へ助成を④いこの森に年次計画で黄桜の植栽を

町長 ①来年度開発基本構想を策定する②早期着工を要望している③受益者負担の関係もあり、議論を重ねたい④積極的に取り組んで行く小松慎一議員 ①国で米の自由化が決定された今、町としての今後の対策は②町活性化拠点施設が利益で町債を償還できるのは何年ころか③家畜市場統合への考えは④町の林業振興対策は⑤

町民税の所得割などを軽減

町税条例を改正し、町民税の所得割の税率が二百万円(現行百六十万円)までが三割、七百万円(同五百五十万円)までが八割に改正されました。また、基礎控除、所得控除などが二万円引き上げられ、税負担の軽減が図られました。

後期過疎計画を可決

後期過疎地域活性化計画(平成七十一年度)が可決されました。同計画は、長寿社会を共に寿ぐ町づくり、山紫水明の里づくり、活力ある産業の振興、人材育成の四本柱を中心に、下水道の整備、活性化拠点施設関連整備など

いじめに対する教育委員会の対応は⑥骨粗鬆症の健診徹底を

町長・教育委員会 ①国の動向を見ながら取捨選択して対応して行く②施設の利益は町債償還の経費ではない③具体的議論の場で対応したい④梅、特用林産など具体的議論をして行きたい⑤学校、地域、生徒一体となって取り組んでおり、いじめの報告はない⑥食生活を含めた予防教育を徹底したい佐藤萬一議員 希望のもてる企画を取り入れ、若者定住は徹底した議論を町長 定住、交流人口、結婚や子育ての素晴らしさを踏まえて議論したい小松賢議員 ハーブを利用し後継者育成、嫁婿対策を町長 勉強させていただきたい

どが盛り込まれています。

スキー場に一日券登場

スキー場のリフト料金が改正され、一日券(中学生以下千円、その他千六百円、二十人以上の団体は二五〇〇円割引)を新設し、五回券、十二回券を廃止しました。

一般会計に五千万円追加

平成六年度一般会計に五千五百二十四万五千円を追加し、総額を四十四億四千九百四十二万一千円としました。主なものは▽農業農村活性化推進対策事業千三百八十万四千円▽道路新設改良費五百九十九万四千円などとなっています。



改正後の年金額（月額）

（単位：円）

	平成 6 年 4 月	平成 6 年 10 月
老齢基礎年金	62,275	65,000
遺族基礎年金（子 1 人）	80,225	83,700
障害基礎年金（1 級）	77,842	81,250
〃（2 級）	62,275	65,000
老齢福祉年金	31,867	33,000



老齢基礎年金が

月額6万5千円に

国民年金法等の一部を改正する法律が十一月九日に公布され、老齢基礎年金が十月分から月額六五、〇〇〇円に引き上げられるなど、年金額の改正が行われました。

本町受給者の八一・七割に当たる老齢基礎年金の場合、これまでの月額六二、二七五円から四・四割引き上げられ六五、〇〇〇円に、障害基礎

年金（一級）の場合、これまでの月額七七、八四二円から四・四割引き上げられ月額八一、二五〇円となりました（詳細は別表のとおり）。

国民年金制度は、国民の老後保障の充実を図るために設けられた制度で、毎年四月には物価スライドによる年金額の改定が行われています。今年は、五年に一度の財政再計

算期にあたるため、平成元年以降の賃金や生活水準の向上に見合った年金額の引き上げが行われたものです。

一方、保険料は月額一一、一〇〇円（付加年金加入の場合は一、五〇〇円）となっています。七年四月からは月額一一、七〇〇円（同一、一〇〇円）になる予定です。



▲ 畠山 勇人くん
（茂沢・明さん長男）



▲ 横山 孝明くん
（泡ノ淵・廣秋さん二男）



▲ 畠山 拓くん
（寺田・俊明さん長男）



▲ 小松 佳広くん
（湯出野・秀栄さん二男）



▲ 鈴木 美徳ちゃん
（袖山・徳之さん長女）



▲ 斎藤 慎平くん
（石高・眞一さん長男）

虫歯なんてないもん。

1歳6ヵ月健診より



▲ 森川貴代美ちゃん
（横小路・由高さん二女）



▲ 畠山 由妃ちゃん
（上通・守さん二女）



▲ 伊東 昇真くん
（高村・清美さん長男）



▲ 小松奈央実ちゃん
（新町・与悦さん三女）



▲ 大日向 優ちゃん
（宮ノ前・博さん長女）



▲ 根田 和真くん
（田代・和春さん長男）



▲高橋宏幸先生から絵本と色紙が贈られ、がっちりと握手

第3回高橋宏幸賞・童話(感想文・感想画)

秋田県コンクール表彰式

子供たちに夢を与えたい

賞の名称を変更、半数を入賞に

第三回高橋宏幸賞・童話(感想文・感想画) 秋田県コンクールの表彰式が十二月十八日、有隣館で行われました。

最高の千百三十四点の応募がありました。

今回のコンクールから、「子供たちに夢を与えたい」と、賞の名前を「メルヘン賞」、「ロマン賞」、「ファンタジー賞」に変更、各部門ごとにメルヘン賞一点、ロマン賞五、ファンタジー賞七点のほか、

この賞は、町功労者で童話絵本作家の高橋宏幸先生が平成三年度に第十五回日本児童文芸家協会賞を受賞したことにちなみ平成四年に創設されたもので、今回はこれまでで

最後に高橋先生が「本は、読むことによっていろいろな事を知ることができるし、学

ぶことも多い。漫画はおもしろいがすぐに忘れてしまう。物語は何十年たっても頭に残っているもの。これを機会にますます本好きになり、たくさん本を読んでいただきたい。そして、他人への思いやりを忘れない素晴らしい人になってください」とあいさつがあり、式が閉じられました。

入賞者一覧

(敬称略)

【感想文の部】▼メルヘン賞Ⅱ

太田溪子(新山小)▼ロマン

賞Ⅱ佐々木洋子(同)、渡邊

恵維子(同)、瓜生真奈美

(同・鶴舞小)、佐藤幸恵(高

瀬小)、佐藤恵(鶴舞小)▼

ファンタジー賞Ⅱ高橋哲也

(大琴小)、佐藤羽純(川内小)、

鎌田真利子(鶴舞小)、小松

大華(八塩小)、川村浩二

(鶴舞小)、小松容子(八塩

小)、三ヶ田さやか(八幡平

小)

【感想画・小学生の部】▼

メルヘン賞Ⅱ小松晶子(高瀬

小)▼ロマン賞Ⅱ横山李紗

(川内小)、伊藤雅浩(金浦

小)、畠山信行(八塩小)、

猪又慎(新山小)、工藤雄太

(鶴舞小)▼ファンタジー賞Ⅱ

渡辺侑宏(八塩小)、八嶋孝

宏(八塩小)、堀内彩香(子

吉小)、三船江里嘉(川内小)、

長谷山善幸(八塩小)、小野

正樹(大琴小)、種沢和恵

(新山小)

【感想画・幼児の部】▼メル

ヘン賞Ⅱ高橋司(永慶保育園)

▼ロマン賞Ⅱ田村薫(西仙ひ

まわり幼稚園)、伊藤雄太

(清徳幼稚園)、菅原和輝(道

川保育園)、小松智美(みど

り保育園)、斎藤直哉(小滝

保育園)▼ファンタジー賞Ⅱ

今野香奈江(道川保育園)、

畠山亜由美(永慶保育園)、

渡部順也(清徳幼稚園)、金

森理紗(道川保育園)、伊東

寛享(小砂川保育園)、小松

里衣(みどり保育園)、佐藤

泉(みどり保育園)

除雪の安全を祈願

関係者40人が出席

除雪作業の無事故を祈願する「除雪機械安全祈願祭」が十二月八日、役場車庫で行われました。

除雪計画では、交通量などにより道路をA路線(二〇七・四^{キロ}・B路線(三〇・九^{キロ})の二種類に区分し、町直営で町道など九五・四^{キロ}、業者委託で国道など四二・九^{キロ}、あわせて一三八・三^{キロ}が除雪されます。



▲約40人が出席した祈願祭

安全祈願祭には、町、委託業者など関係者約四十人が出席。神事後、阿部幸悦町長が「積雪量の多い本町では、快適な生活環境の確保のため、除雪作業は欠かせない。作業時間が不規則で大変とは思いますが、健康に気をつけて頑張ってもらいたい」と作業員を励ました。

農地流動化に貢献

鈴木和夫氏が全国表彰



▲鈴木和夫氏

本町農業委員会の鈴木和夫会長が農地流動化推進員としての活動が評価され、全国構造政策推進会議会長賞を受賞しました。同賞は今年、全国で二十七人が受賞し、秋田県では鈴木会長一人。

本町の農地の貸し借りを率で表した利用権設定率は、九^割と全県平均の四・六^割を大きく上回っています。中でも、杉森、沼、舟木地区四十一戸の農家を担当する鈴木氏は、精力的に掘り起し活動を展開し、同地区の一三・七^割に利用権を設定するなど、農地流動化の啓蒙、促進に尽力しています。

受賞に当たり鈴木氏は、「農業委員を務めて十一年、農業者の代表として頑張ってきた。口だけでなく行動することに大切。この受賞を弾みに、さらに掘り起こし活動を頑張りたい」と話しています。

みどり保育園

歌やおどりに大にぎわい

「保育園での活動の成果をみんなにみてもらおう」と、みどり保育園のたのしみかいが十二月四日、同園の遊戯室で行われました。

たのしみかいには、子供たちの成長した姿を一目みようとして、家族など百人余りが出席。遊戯室の後方には、お父さんたちのビデオ約十台が並び、わが子の晴れ姿を撮影していました。

「ひまわり」、「すみれ」、そして「たんぽぽとちゅうりっぷ」の三組が、歌、合奏、ゆうぎ、劇を発表、会場からは盛大な拍手が送られていました。同園では「一年間の成果を発表するこの会は、園児と先生が一体となって取り組んでいる。年々成長して行く子供たちの姿を多くの人に見てほしい」としています。



▲歌や踊りを発表する子供たち

大平スキー場

照明を16基に増設

ゆるやかなゲレンデに

12月22日オープン

町営大平スキー場のスキー場開きが十二月二十二日、現地で行われ、関係者五十人余りが出席しました。

スキー場は今年度、一億四千三百万円の事業費でゲレン



▲スキー場の完成を祝いテープカット

デを五・三^{キロ}拡張、滑走距離が二百七十^{メートル}から四百^{メートル}に延長され、斜面もゆるやかに(最大斜度を十八度から十二・三度に)なりました。また、ナイター照明を十六基に増やし、頂上にはカラー照明灯二基が設置され、鮮やかなイルミネーションを楽しめるようになりました。

当日は、神事が行われた後、阿部幸悦町長が「大平スキー場は、国道から一番近いファミリースキー場として好評を得ている。広く、きれいに生まれ変わったスキー場を大いに利用してほしい」とあいさつしました。



第6回在京宿小会

会長に小笠原氏就任



▲感謝状を贈呈
(写真左・佐々木氏)

第六回在京宿小会が十一月二十三日、東京都北区の滝野川会館で行われ、八十一人が参加しました。

当日は、十一月一日に行われた町の記念式典がビデオ上映された後、会長に小笠原精治さん（土場沢出身）が就任した事が報告され、同氏が紹介されました。また、これまでに代表幹事を務められた佐々木義勝さん（大琴出身）には、「郷里への熱い思いを語らう機会とすべく在京宿小会の設立に奔走された」として、阿部幸悦町長から感謝状が贈呈されました。

恒例の参加者全員による記念撮影の後、懇親会が開かれ、三十八歳―八十四歳の年齢幅にもかかわらず、畳の会場内で膝をすり合わせての談笑が繰り広げられました。

少年少女サークル

触れ合い深め、終了

町公民館が五月二十九日から行っていた「少年少女サークル活動」が十二月十日、八回にわたる全日程を終了しました。

同サークルは、小学三年―六年を対象に、親子の触れ合いと子供たちの親睦をねらいとして、サッカー、バレー、バドミントンなどのスポーツを中心とした「さわやかサークル活動」と料理、陶芸、ちぎり絵などの創作を中心とした「わくわくサークル活動」に別れて行われました。

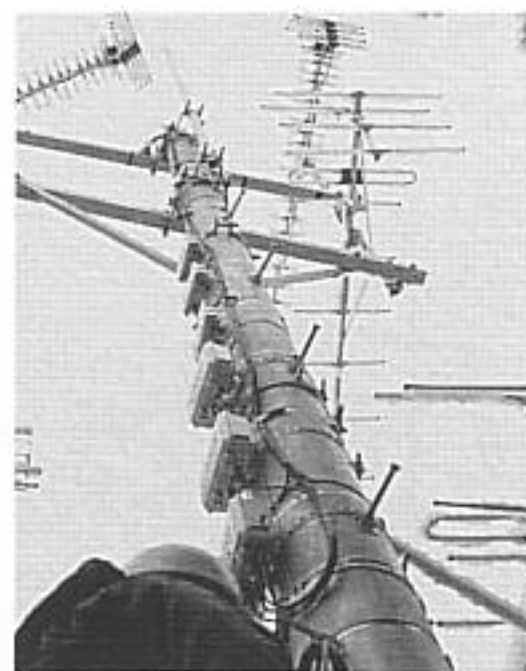
最終回の八回目は、さわやかサークルが岩城町で親子スケート教室、わくわくサークルが公民館で布を使った動物づくりを楽しみ、親子で楽しいひとときを過ごしました。公民館では「来年も実施したい。たくさんの人に参加してほしい」としています。



▲布を使って動物づくり

黒沢地区に共同受信施設

テレビ画面が鮮明に



▲黒沢の共同受信施設

テレビ画面がはっきり見えるように―と、黒沢地区からの要望をうけて町が行っていたテレビ難視聴地域解消事業は、十一月三十日にアンテナが完成、NHK二局、民放三局の鮮明な画面を楽しむことができるようになりました。

同地区では、これまで個人や共同で山頂にアンテナを設置してテレビ電波を受信していましたが、画像が不鮮明なことや維持管理等の関係で、二年程前から要望を重ねて来ました。これを受けて町では、県の補助制度を取り入れ、今年度二百八十万円余りで共同受信施設整備を図ったものです。

小松隆黒沢自治会長は「アンテナの完成ですっきりとした画面になった。民放が三局見れるのがうれしい」と話しています。

J A東由利婦人部

合併15周年を祝う

J A東由利婦人部合併十五周年記念大会が十二月十三日、有鄰館で行われました。

同婦人部は農協が合併してから八年後の昭和五十四年、東由利、玉面両農協婦人部が合併し、東由利農協婦人部として設立されました。合併後は、農村婦人の地位向上をめざすとともに、冠婚葬祭の合理化や水と緑を守る運動を展開してきました。平成五年には、Aコープ肌着安心・安全共同購入事業で全県優秀婦人部賞を受賞するなど活発な活動が高く評価されています。

大会では、藤原富貴子部長が「これまでの諸先輩の努力に感謝し、この節目の一つのステップとして一層頑張り合いましよう」とあいさつ、会員たちは決意を新たにしました。



▲有鄰館で行われた記念大会

イメージキャラクター愛称

「モウ太くん」に決定

町イメージキャラクター「愛称」選定委員会（委員長・阿部幸悦町長、委員八名）では十二月十四日、合併四十年、町制施行二十周年を記念して制定されたイメージキャラクターの愛称を「モウ太くん」に決定しました。

同委員会では、県内外の九十一人から寄せられた九十九点の愛称の中から、千葉正則さん（鷹巣町）の「モウ太」を選作とし、補作してモウ太くんに決定したものです。

HIGASHIYURI

東由利の話題

TOPICS

町の宝もの

32

羽宇志別神社の掲額（新処）

祭神が^{おなむらのみこと}大己貴命・少彦名命で、遠藤別当家に伝わる由緒によれば、天平勝宝元年（七四九）遠藤藤次郎茂遠の信仰によって創造され、その後領主本城豊前守（楯岡氏）や本莊領主六郷氏の時に御拝社の扱いをうけ、田地諸役御免・宮殿の修復も成されました。

矢島藩領となってからも修復や田地諸役御免などの恩恵があつて、生駒領内における五社の一つに数えられる格のある神社になっていました。こうしたこともあつてか、写真の掲額は第九

代藩主生駒親章の書で、本殿の中に掲げられ金文字の貴重なものです。

親章は寛政四年（一七九二）以降、矢島に四回帰っており、文化十四年（二八一七）江戸で亡くなりました。

（文・畑山昭二）



掲額の下は、生駒家の紋所「半車」の金紋です

広報クイズ ⑩

次の☆印に必要な数字または文字を入れて応募してください。

- ①東由利町、大内町合同海外研修では、ドイツ、☆☆☆、フランスを訪問
- ②1歳6か月健診で虫歯がなかったのは☆人
- ③除雪計画のB路線は☆☆・☆☆

※官製はがきに答え、応募者の住所・氏名・年齢・身近な話題など、なんでも

結構ですので、書いてお出してください。

※あて先／東由利町老方 東由利町役場広報係あて

※締切／1月13日（当日消印有効）

※全問正解者の中から抽選で5人の方に素敵な記念品をプレゼント。

※先月は16人の方から応募がありました。抽選で次の5人の方に写真盾をプレゼントします。▽伊東哲也さん（蔵）▽大坂昭平さん（大琴）▽佐々木シカさん（横小路）▽阿部政夫さん（秋田市）▽鎌田クラさん（黒瀬）。

応募ありがとうございます。

学校、家庭それぞれで虫歯予防

現在、下郷分校には、今まで永久歯がむし歯になったことがないという生徒が一名だけあります。残念ながら残りの生徒は現在もしくは過去にむし歯を持った経験がありますが、四月の時点でおおよそ二割が治療を完了しています。その他に、夏休みや放課後を利用して治療を進めている生徒も確実にあります。

しかし、治療にも行かずに歯が痛いといってくる生徒が後を絶たないのも事実です。歯科検診の時点では、一人平均八本のむし歯がありました。保健だよりの配布や歯科医講話の開催など歯科保健意識の高揚には努めておりませんが、腰の重い生徒の現状を見ると、まだまだのようです。

なぜ歯の治療に足が向かないのか生徒にたずねると、痛い・めんどろ・暇がない、という答えがほとんどです。このことから、むし歯を「治さなければならぬ病気」としてとらえる気持ちの薄いところに、大きな原因があるように思います。

生徒が自ら虫歯治療の必要性を認識し、行動できる力を養うことは、歯科保健教育の目標の一つです。一日の大半を過ごす学校と、生まれて十数年の生活の積み重ねがある家庭が、それぞれの役割を生かし、生徒に働きかけていけるのが理想であり、それに近づこう努力したいと思います。

（下郷分校、横山牧子先生）

今年は亥年



今年は亥年―十二支の最後の干支。十二の方向を示す十二支にそれぞれ動物を当てた中国でも当然亥年です。しかし、おもしろいことに、中国でカレンダーなどにかかれる絵は、イノシシではなくブタの絵が多いようです。さて、イノシシは、全国各地に分布しています。奄美大島や沖縄などには、琉球イノシシと呼ばれる小型のものが生息しています。人間は、昔からイノシシをさまざまに利用してきました。

肉は、獣肉を回避してきた時代から「山くじら」と呼んで食べられていたようです。毛はブラシに、歯は印材に、胃液はマムシにかまれたときに使ったといえます。皮は靴用に使われましたが、それは怒り毛で縫ったようです。イノシシといえば、猪突猛進という言葉が連想されますが、今は「ゆとり」の時代ともいわれており、猪突猛進したらゆとり休むように心掛けたいものです。

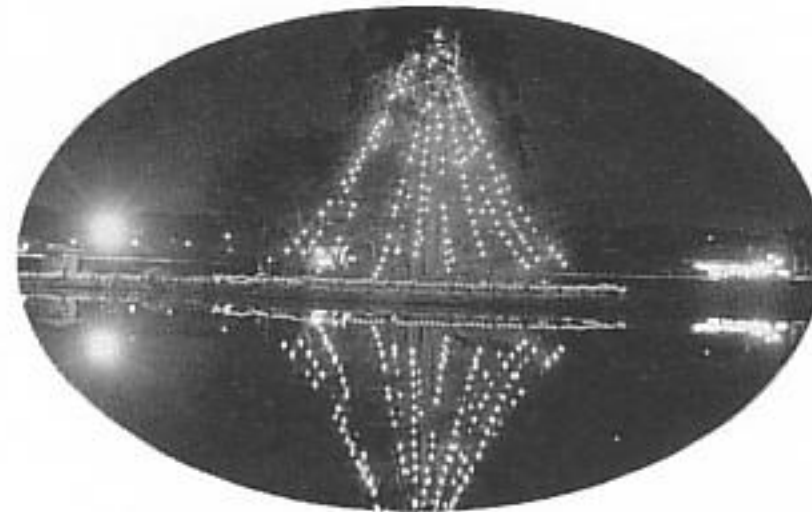


フィンランドから『公認サンタ』が

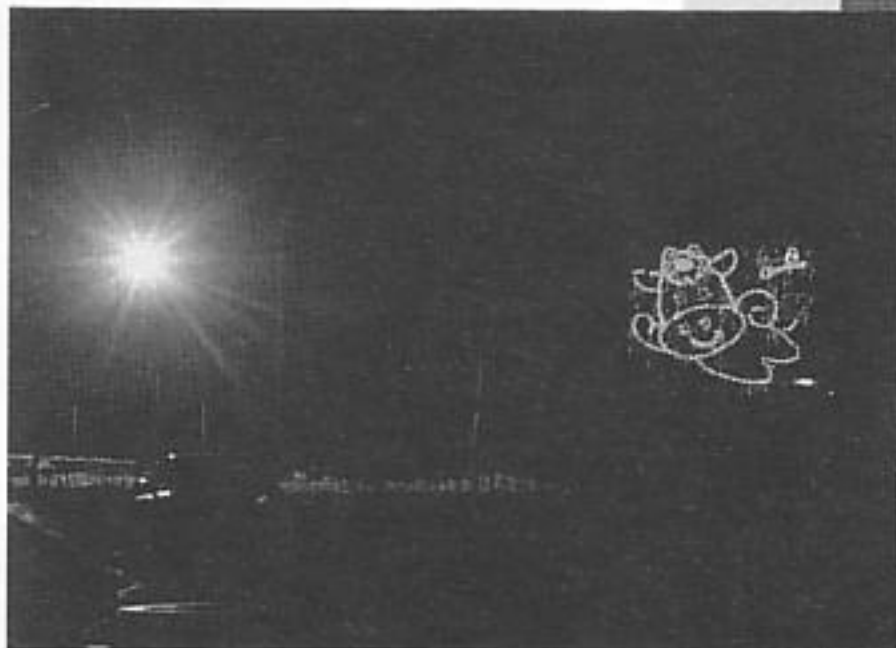
子供たちにおおきなプレゼント



▲「ハイ！ ハイ！ サンタさんに質問」



▲弁天島のクリスマスツリー



▲会場前ではもう太くんが歓迎



▲「良い子のみんなに会うのを楽しみにしていた。これからもずっと良い子でいて下さい」とサンタさんからのメッセージ



▶サンタさんのまわりはカメラだらけ



▲メルヘンチックな会場内は子供たちでいっぱい



▲「サンタさん、私と握手してくれないかな…」

夢いっぱい
のクリスマス

第四回弁天島サンタフェスティバルが十二月十六日、健康増進センターで行われ、親子連れなど約六百人がフィンランドの公認サンタクロースと対面しました。

弁天島はたるの会（高橋賢太郎会長）が「子供たちに夢を」と企画したフェスティバルでは、子供たちにサンタクロースからプレゼントがあり、夢いっぱいのクリスマスとなりました。



★わが家のアイトル★

小倉・遠藤まどかちゃん
(H4・3・2日生まれ)
武さんと真子さんの
二女

「家の中で、本を読んだりテレビを見たりしている毎日。お兄ちゃん、お姉ちゃんともとても仲良し」とおばあさんのリエさん。写真は、おじいさんの春男さんが撮影してくれました。

東由利——ニュースダイジェスト 21

合併当時を振り返る

昭和30年のあゆみを村報で紹介

昭和三十一年一月十六日の東由利村報では、昭和三十年の村のあゆみが紹介されています。あゆみでは、「昭和三十年は旧下郷、玉米両村が合併し、六十余年にわたったわれわれの村自治史の色を塗りかえた画すべき年である。旧両村人が渾（こん）然一体の行政機構を確立して住民の恒久の福祉を図り、もって地方自治の本旨に副わんとする合併の趣意をかげ、七月より新村としてあゆみをすすめてきた」との書き出しからはじまっています。七月二十三日に行わ

れた新村発足、開庁式、教育委員会、新消防団発足式から十二月までの二十二の出来事が紹介されています。先頃発行された合併四十年、町制施行二十周年記念誌と比べてみてはいかがでしょうか。

東由利の文芸

せせらぎ句会（十二月句会）

- 佐藤 正義（湯出野）
- 遠藤トミ子（小倉）
- 高橋ヒデ子（横渡）
- 小松 女沙（下小路）
- 小松順之助（中通）
- 阿部 ナミ（蔵）
- 佐藤 貞（蔵）
- 小野石路子（上里）
- 小松慶治郎（高戸屋）

四月に高校を卒業し、社会人一年生の綾子さん。この職場は同級生のお母さんから紹介されました。「人工授精師さんとのやりとりが主な仕事。専門用語が多く、分からない事が多いけ

阿曾 綾子さん（19歳）
宇戸坂・家畜人工授精
運営委員会勤務



ど毎日が楽しい」と話す彼女。「私は、のんびりした性格で、ボーとしている時が多いので、ゴミゴミした都会よりも東由利の方が住みやすい」と住み慣れた町の良さをPR。休日は、本荘市や秋田市へのドライブや買い物、音楽鑑賞などを楽しんで

います。そんな彼女の夢は、自分の家を持つこと。「天窓がついて、ベランダがあって、屋根裏部屋みたいな所に住んでみたい」とニコニコしながら話してくれました。次は、下吹の畑山純子さんにリレーします。

ヤマカマスしずかに揺れて秋暮るる
異状なしカルテに師走の日ぬくし
初霜や物干竿の指のあと
冬木の芽少しゆるめて囲いけり
スモッグの濃くも薄くも冬奉公
高原の行手は冬の芒のみ
望郷の眼けはしく鮭のほる
身の上の話ぬくめて炉をもやす
冬の雨栗島海と空をわけ
耳を搔き年を忘るるまねき猫
夕暮れて鴨の羽音の瀬波かな
芒一本師走の風の早きこと

- 小松 忠正（下通）
- 小笠原亮子（蔵新田）
- 阿部 俊子（横渡）
- 嶽石 レイ（五海保）
- 高橋民治郎（袖山）
- 小笠原トミ（蔵新田）
- 小松 正昭（家ノ下）
- 阿部 澄子（蔵）
- 大庭喜右エ門（舟木）
- 小野 貞子（蔵新田）
- 菊地 常作（湯出野）
- 小松 徳蔵（湯出野）



くどうしんごくん (新町)

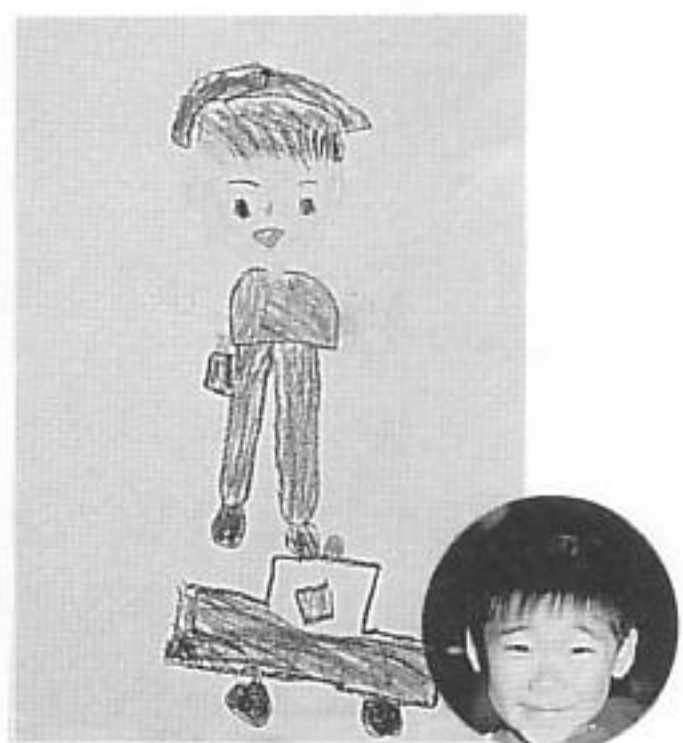
永慶保育園



さとあいちちゃん (祝沢)

しんごのゆめ

ぼくの絵
わたしの絵



こまつひできくん (湯出野)



はたけやまあゆみちゃん (袖山)

アレン先生の英会話教室

国際英会話クラス

Vol.10 Winter Activities (冬の生活)



Satomi : Which is colder, Minnesota or Akita ?
(ミネソタと秋田はどちらが寒いですか?)

Allen : Minnesota is much colder. It is often -20° and sometimes -30° or even -40° .
(ミネソタの方がとても寒いです。マイナス20度はよくありますし、時々、マイナス30度から40度になることもあります)

Shin : Wow, that is very, very cold!
(すごい、とっても寒いんですね)

Satomi : What sports do you play in the winter?
(冬はどんなスポーツをするのですか?)

Allen : Nordic and alpine skiing, skating, ice fishing, sledding, and many other sports.
(クロスカントリースキー、アルペンスキー、スケート、氷上の釣り、ソリなどいろいろです)

Shin : What is your favorite?
(あなたの好きなものは?)

Allen : Nordic skiing.
(クロスカントリースキー)

ハイスクール○日記

福祉の集い
に参加して



下郷分校3年
佐藤 忍さん

十一月十七日、有鄰館で行われた福祉の集いで、私は昨年の夏休みに参加したサマーショートボランティアの体験やそこでの印象を話しました。老人ホームで、部屋や食堂の清掃、おむつ交換、食事の介助、シーツ交換などの手伝いをしたこと。聞いていたのと実際に体験したのでは大違いで、ずいぶん思い悩むことがあり、介護の難しさを知ったこと。また、これを契機に高齢化社会についていろいろ考えるようになったこと。

当日は、私が思っていた以上に大勢の人が集まり、発表の時は少し緊張してしまいました。しかし、夏休みの思い出深かった体験を再確認する意味で、私にとっては非常によい経験になったと思っています。また、小学生から高校生まで、それぞれの発表がありました。発表の中で、いろいろな形で言われていた、人と人のかかわりの難しさや大切さ。これら一つ一つは考えさせられるものがありました。

私が体験したこと、この集いで学んだことは、これから社会に出てからも生かせるよう努力していきたいと思っています。

1月→データ東由利

〈11/1～11/30〉

人口

() は前月比

■男	2,688人 (△4)
■女	2,838人 (△2)
■計	5,526人 (△6)
■世帯数	1,418戸 (△1)

() は1月からの累計

・出生	0人(39)	・死亡	2人(54)
・転入	7人(87)	・転出	11人(131)

■火災出動	0件(1)
■救急出動	4件(90)
■交通事故	0件(5)
・死亡	0人(0)
・傷者	0人(8)
■飲酒運転	0人(0)
■酒気帯び	0人(0)

カレンダー 1月の行事

- 4 新春座談会(高瀬館 13:30～)
- 5 〃 (玉米会館 9:30～)
- 〃 (住吉会館 13:00～)
- 6 消防出初式(健康増進センター 10:00～)
- 7 新春座談会(大蔵館 13:30～)
- 8 〃 (老方館 13:30～)
- 9 〃 (袖山館 13:30～)
- 10 〃 (克雪センター 13:30～)
- 13 フレッシュ教室(有鄰館 9:30～)
- 19 健康大学(有鄰館 13:00～)

※1月10日は110番の日。事件、事故はためらわず110番

東由利

郷土の野草

No.119



サルトリイバラ

(ユリ科)

文・写真 小松忠正

全国の山野に自生する雌雄異株の蔓性低木で、根茎は太く横に這います。地上の茎は節が多く、堅く、二、三メートル程伸びます。葉は広楕円形で革質、数本の平行脈があります。夏、葉液から花軸を出し黄緑色の小花を散形花序につけ、秋に雌株に球形の美果をつけます。茎のトゲが鋭く、猿もこれにひっかかると参ってしまうという事でこの名があります。「山で恐いはサルトリイバラ、里で恐いは人の口」という俚諺(ことわざ)があります。腫物に煎服するといいます。

戸籍の窓口

(11/21～12/20届出)

●お誕生おめでとう

〓渡辺 愛莉ちゃん(大芽 静香) 長女・石 高

〓小松 成海ちゃん(順子) 二女・宮ノ前

〓畠山 将太ちゃん(明弘 小百合) 長男・大吹川

〓千葉 優美ちゃん(康悦 晴美) 長女・黒 沢

●ご結婚おめでとう

〓鎌田 敏さん(黒 潤 小松 育子さん) 蔵

〓菊地 邦彦さん(宇戸坂 武田 美穂さん) 本莊市

●ごめい福をお祈りいたします

〓畑山ハルエさん(88・良一・母) 下小路

〓長谷山マツミさん(85・雄悦・母) 館倉新田

〓齊藤 正志さん(61・眞一・父) 石 高

私の好きな風景

夕方



自動車のライトと温泉保養施設の現場が明るくきれいです。役場後方の高台から撮影しました。

(撮影・広報担当)

まごころ

町社会福祉協議会に、遠藤重和さん(本莊市)、吉川葉子さん(時雨山)、長谷山雄悦さん(館倉新田)から芳志が、玉米カラオケ同好会からチャリティーバザーの収益金が届けられました。

広報送付の謝礼として、中村松夫さん(秋田県在住、特別町民)、石黒ミラさん(秋田県在住、館西出身)、佐藤直行さん(市川市在住、横濱出身)、村雲多栄子さん(横濱市在住、祝賀出身)、興松たけ子さん(船橋市在住、下通出身)から金一封が、千葉鉄男さん(兵庫県在住、特別町民)からは、タオルが届けられました。ありがとうございました。

ほっといきい

今年最初の広報をお届けします。今年もいろいろお世話になると思います。よろしく願います。

さて、広報クイズのお便りの中に「のら猫」の話がありました。「家の中で物色にくる。効果的な退治法はないかしら」との事。猫の好きな人は思わず「ムッ」とくるかもしれません。が、現実には困った問題の一つかもしれません。

わが家にも猫が一匹いますが、エサを与えても、のら猫に食べられてしまい、お皿の中はほとんど空っぽ。猫と話ができれば「食べ物豊富だけど、競争が激しくて住みにくくなりました」とでも答えるのでしょうか。